

研究機関名：東北大学

受付番号：	2009-456
研究課題名	内分泌疾患における免疫組織化学的検索
研究期間	西暦 2010年 4月（倫理委員会承認後）～ 2015年 3月
対象材料	■病理材料（対象臓器名 下垂体、甲状腺・副甲状腺、副腎） ■生検材料（対象臓器名 下垂体、甲状腺・副甲状腺、副腎） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input type="checkbox"/> その他（ ）
上記材料の採取期間	西暦 1980年 1月～ 2009年 12月
意義、目的	内分泌臓器（下垂体、甲状腺・副甲状腺、副腎）の腫瘍、疾患は比較的頻度が少ないこともあり、各疾患における臨床病理学的因子の解析やその治療法に与える影響についての検討は十分になされていない。そこで今回、各種副腎疾患の摘出標本において、臨床病理学的に重要と思われる因子の主に蛋白発現を検討することを目的とする。
方法	臓器組織標本は、過去に東北大学病院または関連病院で摘出された検体で、東北大学病院または病理診断学教室に保管されている 10%ホルマリン固定パラフィン標本あるいは凍結標本を用いる。蛋白の発現は、主に免疫組織化学により検討する。検索標的としては、サイトケラチン、サイログロブリン、TTF1, Ki67, カルシトニン、CEA などの一般的によく利用されるマーカーとともに、ホルモンおよびホルモン受容体（ER, PR, ACTH, T3, T4, Ad4BP/SF1）などを予定しているが、個々の症例や目的に応じて追加する可能性もある。
問い合わせ・苦情等の窓口	東北大学大学院医学系研究科病理診断学分野 赤平 純一 022-717-8050